

流通とSC・私の視点

2008年12月8日

視点(1005)

2008～2010年の3年間の景気予測

経済協力開発機構（OECD）は2008年11月25日に秋のエコノミック・アウトルック（経済見通し）を発表しました。その内容は次の通りです。

(実質成長率)

		2008年	2009年	2010年
先進国	日本	0.5%	▲0.1%	0.6%
	米国	1.4%	▲0.9%	1.6%
	ユーロ圏	1.0%	▲0.6%	1.2%
	OECD全体	1.4%	▲0.4%	1.5%
新興国	中国	9.5%	8.0%	9.2%
	インド	7.0%	7.3%	8.3%
	ロシア	6.5%	2.3%	5.6%
	ブラジル	5.3%	3.0%	4.5%

OECDは、日米欧の2009年の実質成長率をいずれもマイナスになると予測しています。直近の指標を取り入れ、OECD加盟国の実質成長率をマイナス0.4%、2010年をプラス1.5%としています。日本については、消費者物価指数（CPI）で見た物価上昇率が2010年度に前年比0.1%低下すると見込んでおり、**再びデフレに陥る懸念**を表明しています。加えて、「金融市場での混乱の長期化、新興国経済への外国からの投資減など、先行きには強い下方リスクが残る」と述べ、実体経済が予測よりも下回る可能性があるとしています。

また、日本経済研究センターは、日本経済新聞・2008年11月26日号で2008～2010年の日本経済の短期予測を発表しています。その内容は次の通りです。

(単位：%)		2008年度			2009年度			2007年度 (実績)	2008年度 (予測)	2009年度 (予測)	2010年度 (予測)	
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月					1～3月
実質国内総支出		▲0.1	▲0.2	▲0.3	▲0.3	▲0.2	0.2	0.5	1.7	▲0.4	▲0.8	1.2
国内需要 (寄与度)	民間最終消費支出	0.3	▲0.2	0.1	0.2	0.1	▲0.2	0.2	1.7	0.2	0.2	0.8
	民間住宅投資	4.0	▲1.0	▲1.3	▲1.5	1.2	2.2	1.7	▲13.3	▲4.8	0.4	2.8
	民間企業設備投資	▲1.7	▲1.8	▲2.0	▲2.2	▲2.2	▲0.6	0.4	▲0.1	▲3.5	▲6.7	3.7
	公的固定資本形成	0.4	▲0.2	5.0	▲0.7	▲0.8	▲2.3	▲3.7	▲1.8	▲3.7	0.3	▲4.2
	小計	0.1	▲0.1	▲0.2	▲0.3	▲0.2	▲0.2	0.4	0.5	▲0.7	▲0.7	0.9
外需 (寄与度)	財貨・サービスの輸出	0.7	▲2.2	▲1.8	▲1.2	0.4	0.4	0.9	9.5	0.7	▲2.8	4.4
	財貨・サービスの輸入	1.9	▲3.1	▲1.8	▲1.4	0.6	0.6	0.4	2.0	▲2.4	▲3.0	3.7
	小計	▲0.2	▲0.0	▲0.1	▲0.1	▲0.0	0.0	0.1	1.3	0.4	▲0.1	0.3
名目国内総支出		▲0.5	0.8	▲0.1	▲0.5	▲0.6	▲0.1	0.1	0.7	▲1.1	▲0.8	0.6
対米ドル円レート		107.6	99.2	97.7	97.2	96.7	97.4	97.7	114.2	102.3	97.3	98.8
消費者物価指数		2.3	1.4	0.7	0.5	▲0.6	▲0.4	▲0.6	0.3	1.5	▲0.3	0.2
失業率		4.1	4.3	4.6	4.9	5.1	5.2	5.2	3.8	4.2	5.1	4.9
米国実質経済成長率		▲0.3	▲2.6	▲1.4	0.1	▲1.6	0.4	1.0	2.0	1.4	▲0.9	1.0
中国実質経済成長率		9.0	8.2	8.0	8.1	8.1	8.2	8.2	11.9	9.5	8.1	8.4

日本は、今後「深く長い景気後退」かつ「デフレ経済」の時期に突入すると予測しています。

(株)ダイナミックマーケティング社¹³
代表 六車秀之